防 災 管 理 点 検 票

防	災	管	理	者									
立	ć,	会		者									
点	検	年	月	日		年	月	日	~		年	月	日
防災	く管理	1維	持台	排	記録の有意	無 □有・	□一部有	· □無	保存	の有無	□有・[□一部有	• □無
防	階	隆	剔		用	途	床	面和	油井		する部床面積	備	考
災管	別			階					m²		n	2	
理対	概要			階					m²		n	ı²	
象	<u></u>			階					m²		n	ı²	
物の				階					m²		n	²	
の概	早			階					m^2		n	²	
要	号棟)			階					m²		n	²	
		<u>{</u>	\ 1 = 1	+					m²		n	²	
備													
考													

- 備 考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 - 2 防災管理維持台帳の欄は、該当する□にレ点を記入すること。

	点 検 項 目	点	検 結 果	状況及び措置内容	
	从 恢 均 日	判定	不 備 内 容	水机及 Oʻ相 直 Pi 吞	
	防災管理者選任(解任)	□ 適			
届出	消防計画作成(変更)	□ 適□			
Щ	自衛消防組織の設置	□ 適			
	自衛消防の組織	□ 適 □ 否			
	避難施設の維持管理及びその案内	□ 適□			
	収容人員の適正化	□ 適			
	防災管理上必要な教育	□ 適 □ 否			
消	避難訓練その他必要な訓練	□ 適			
	関係機関との連絡	□ 適			
	訓練結果の検証及び消防計画の見直し	□ 適			
	防 災 管 理 に 関 し 必 要 な 事 項	□ 適			
	地震発生時の被害想定及が対策	□ 適□ 否			
7-	地震対策のための自主検査	□ 適			
防	地震対策のための設備及び 資機材の点検並びに整備	□ 適			
	備品の落下、転倒及び 移動の防止措置	□ 適			
	地震発生時の応急措置	□ 適 □ 否			
	地 震 対 策 に 関 し 必 要 な 事 項	□ 適			

	特	殊な災害の発	生時	の	□適	
	通	報連絡及び避	難誘	導	口否	
	特	殊な災害の		策	□適	
	に	関し必要な	事	項	口否	
	自	 活 動 要		領	□ 適	
計	衛				□ 否	
	消防	要員の教育及	び訓	練	□ 適	
	組	 業務に関し必要	かす	T百	□ 適	
	織	未伤に関し必多	- 4 尹	垻	□否	
	共	協議会の設置及	び運	営	□適	
	同				口 否	
	自衛	統括管理者の	の選	任	□ 適	
	消					
	防	業務を行う	範	囲	□ 否	
	組織	運営に関し必要	か事	項	□適	
	邟	と 日に 因 し 犯 女	、4 升		口否	
画	防	災管理業務の一	部委	託	□ 適	
	権	原の	亱	囲	□ 否	
	Lef.	L /4- \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	4 P	/-l-l\	□適	
	地震	自衛消防の	組	織	口否	
	防災		<i>i</i> —	達	□ 適	
	対 策	情報等の	1四		口否	
	強	\rh ## 크다		/ 大	□適	
	化地	避難誘		導	口否	
	域 に	施設及び設	: 備	の	□適	
	· 所 在	点 検 及 び		備	口否	
	す	F		<u>₩</u>	□適	
	る 防	応 急 対		策	口否	
	災管	I/ +	Ī	솯	□適	
	理対	防災訓		練	□ 否	
	象	数 去 T. バ	+	土口	□適	
	物	教育及び	14	報	口否	

防	避難訓練の実施回数・		適	
災管	世 無 训 林 V		否	
理	避難訓練を実施する場		適	
者	合の消防機関への通報		否	

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

- 2 判定の欄は、適正な場合は「適」の□にレ点を記入し、不備のある場合は「否」の□に レ点を記入するとともに、不備内容の欄にその内容を記入すること。
- 3 状況及び措置内容の欄には、点検時の点検項目の状況及び点検の際措置した内容を記入すること。
- 4 該当のない点検項目については、状況及び措置内容の欄に「該当なし」と記入すること。

		点	、検 結 果	状況及び措置内容
	点 検 項 目	判定	不 備 内 容	
	統括防災管理者選任	□適		
届	(解 任)	口否		
出	全体についての消防	□適		
	計画作成(変更)	口否		

	点		枌	否		目			ķ	. 検	結	果		状況及び措置内容
	尽	`	検	項		Ħ		判	定	不	備	内	容	1 从优及い相直的谷
避				要			設		適					
及	び	防	火	戸	0)	管	理		否					

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 - 2 判定の欄は、適正な場合は「適」の□にレ点を記入し、不備のある場合は「否」の□に レ点を記入するとともに、不備内容の欄にその内容を記入すること。
 - 3 状況及び措置内容の欄には、点検時の点検項目の状況及び点検の際措置した内容を記入すること。
 - 4 該当のない点検項目については、状況及び措置内容の欄に「該当なし」と記入すること。